



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和7年度地域でつながる家庭教育応援事業
福島県家庭教育応援企業「活動報告」

「福島県教育委員会は、企業と連携し、地域の家庭教育を推進します！」

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、社会的なルールやマナーなどの生きていくため必要なライフスキルを身に付ける上で、重要な役割を担っています。

家庭教育の支援につながる職場環境づくりや 地域貢献活動等による取組、企業内学習等を活用した子育て講座の実施など、様々な取組を実施している子育て応援企業が全国的にも増えています。

働く保護者にとって、子育てや家庭教育の充実のためには、職場の理解や協力、ワークライフ・バランスの推進が欠かせません。また、企業にとっても、子供たちの健やかな成長は、次代を担う人材の育成として、とても重要です。

家庭や地域だけでなく、こうした企業の取組の推進が、ますます求められています。未来を担う子どもたちを社会全体で育てていくためにも企業の方々の応援が必要です。

～福島県教育委員会HP 家庭教育応援企業・募集チラシより～

相馬中央病院			
職場見学・体験の実施 ◎地域の子どもたちに、職員が働く姿を見せ、仕事を体験させました。			
職場の家庭教育推進	・生活習慣を向上させる取組 ・学校との協働活動	・学校行事への参加促進 ・地域行事への協力・支援	・職場見学・体験の実施 ・その他
日時	7月8日(火)・9日(水) 9:00~15:00	9月3日(水)・4日(木) 9:00~15:00	9月18日(木)・19日(金) 9:00~15:00
参加者	相馬市立中村第一中学校 2年生7名	相馬市立中村第二中学校 2年生2名	相馬市立向陽中学校 2年生3名

【相馬中央病院からの報告（感想）】

職場体験として、地域の中学校から12名の生徒の受け入れました。病院の中にあるさまざまな部署を見学してもらい、職員から説明しました。2日間の体験学習から「病院は、どんな仕事をするのか?」、実際の仕事に触れることで、適性や興味関心を深く理解したようでした。また、将来就きたい職業は、医療関係という生徒もいて、進路選択がより明確になったようでした。

「中村第一中学校」

歯科口腔外科では、歯形をとって石膏を流し、歯の模型づくりに挑戦しました。歯形をとったのは、生徒全員初体験ということもあり、興味深く作業をしてくれました。つくった石膏は記念に持ち帰ってもらいました。

また、体験の合間や休憩時間に、七夕の吹き流しの飾りを作ってもらいました。折り紙の得意な生徒が多く、リボンや星などをたくさんつけた素敵な吹き流しが完成。生徒のつくった吹き流しは、実際に病院のロビーに設置しました。

看護師の仕事を体験。点滴の操作のほか 眼科では目のしくみや病気を教わり、針の種類なども学びました。写真(右)は実際に目の写真を撮影。「全員目に異常なしとのこと。よかったね！」



「中村第二中学校」

「楽しい！」と大好評の薬剤師の分包体験。院内薬局にお願いをして二日間体験させてもらいました。初日は薬に見立てたラムネで、二日目はミネラル不足の患者様に処方されるという塩化ナトリウムの分包に挑戦しました。粉を均一に整える作業にかなり苦戦しました。看護部長のお話を聞いた後、友達のバイタルチェックにも挑戦しました。生徒たちは「看護師は、いろいろな場面で活躍できる」と知って、興味がわいてきたようです。

理学療法室でウォーターベッドやマイクロ波療法を体験しました。実際は医師の診断の上で実施されるものなので、次に体験できるのは50年後かなと感じていたようです。当院では季節や行事に合わせて給食を提供しています。9月16日に提供する敬老の日をイメージした給食に添えるお守りの作成を生徒にお願いしました。



「向陽中学校」

病院内の手術室を見学。丁寧な手洗いなど徹底された不潔なものを持ち込まない意識を学びました。手術着も着てみました。

内科医：齋藤先生のお話を伺いました。さまざまな境遇の患者様の気持ちを理解するためにも、勉強だけでなく人生経験も必要であると教えていただきました。

向陽中の生徒3人とも二日間で一番印象的だったことに挙げてくれた内視鏡体験。胃を模した手作りの模型にスコープをいれて中の様子を見たり、紙粘土でつくった悪性腫瘍の組織を実際に生検鉗子で採取したりと、実際の胃カメラさながらの体験に「医師や看護師がやっていることを自分ができるうれしい」と喜んでくれました。

10月の十五夜に合わせて受付に置くお月見かざりの作成をお願いしました。

「おだいじに」のメッセージは生徒のアイデアです。



高校生一日看護体験の実施◎働くことの意義や楽しさを体験させ、望ましい勤労観を育てました。

学習テーマ設定の理由	県内の高校生と医療従事者が交流し看護体験をすることにより、看護の在り方とともに考えていくきっかけを作り、看護の仕事は、かけがえのない命を守り、人の心に触れることのできる感動ある仕事と感じてもらおう機会を提供する。
日時	7月29日(火)8:30~15:00
参加者	県立相馬高等学校・相馬総合高等学校に通う生徒6名 職員5名
実施内容	○オリエンテーション ○院内見学 ○看護職員との交流 ○模擬看護体験 ・体温、脈拍、呼吸測定 ・手浴、足浴、洗髪 ・患者さんとのコミュニケーション

【参加した高校生の感想】

- ・貴重な体験をさせていただき、将来看護師として働く自分をより具体的にイメージできるようになりました。
- ・ひとつひとつの仕事に意味があり、責任をもって行う大切さを学びました。今回学んだことを忘れずに、自分の夢に向かって頑張りたいです。
- ・看護師さんが忙しい中でも丁寧に対応している姿に感動しました。将来素敵な看護師になれるように今後も努力していきたいと思います。



【担当看護師の感想】

- ・将来を見据え、看護師の仕事積極的に知ろうという意気込みが感じられました。今回の看護体験により、一人でも多くの高校生が看護という道を選択してくれることに期待しています。

